



国際ロータリークラブ第2620地区 2023-2024年度
 RI会長 ゴードンR. マッキナリー
 会長 竹田 浩富 幹事 伊原 謙治

朝霧アリーナより



竹田 浩富 会長

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
 事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
 TEL.0544-23-2122 FAX.0544-23-2122 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.25 通算 1556 号 2024年2月9日(金)

ゲストビジターの紹介

講演者 岳南朝日新聞社 千頭和真理様
 ♪ロータリーソング それでこそロータリー

会長挨拶

会長：竹田 浩富 君

本日は公共イメージ向上委員会企画で、地元ローカル紙岳南朝日新聞社記者千頭和真理様に「ローカル紙の役割について」というテーマで講演をお願いしています。この企画の意図は、我々も地元の市民に対して、当クラブの存在とロータリーとしての奉仕活動に関してもっと知ってもらうためには、どのような活動を行い、それをどのように広報するかを考えるヒントを与えられたいというものです。

我がクラブの存在をアピールするための社会奉仕活動とは何か。会員諸氏に考えていただきたいと思えます。今年度8月18日と9月15日に研修委員会による会員交流の例会も行い、当クラブの事業についての改革案、新規事業案について意見が出てきました。両方の例会に共通することとして、なんとなく例会に参加している、今行っている事業では物足りない、わがロータリーの核となる事業が欲しいというようなことだったと思えます。

そこで、そういう場で意見を言うだけでなく具体的な事業、わがクラブの顔になるような事業、継続的な事業、さらには、市民に周知をして富士宮西ロータリークラブの存在をアピールする奉仕活動の事業のアイデアを募集したいと思います。

皆様からいただいた案を理事会で検討し、会内にコンセンサスを形成し、制度設計をして実行に移していけるように実働を始めたいと思えます。配布別

【会報委員会】 委員長：貫名英舜

紙に皆さんのアイデアを記入して下さい。考える時間は一ヶ月あります。じっくり考えて、3月15日までにご提出をお願いします。

幹事報告

幹事：伊原 謙治 君

*別紙幹事報告参照

*次の例会は3/1ですが、職業奉仕委員会による「私の職業奉仕」というテーマで、4名の会員によるスピーチを行いますので、指名された方はスピーチの用意をして下さい。また、会報掲載のために400字程度に要旨を纏めておいて下さい。

*3/30(土)は御殿場 RC 担当で IM が開催されます。バスに乗り合わせて会場へ向かう予定です。詳細は後日発表します。*ロータリー手帳ご入用の方は登録して下さい。

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	21	19	16	7	0	78.9%

欠席者：遠藤寿男君 近藤憲司君 仲亀秀樹君
 外木規之君 大谷裕也君 宇佐美量三君 若林眞治君

本日のお祝い

会員誕生日 貫名英舜君 s28.2.13
 外木規之君 s19.2.14
 結婚記念日 早川英寿君 h25.2.11
 仲亀秀樹君 S24.2.25

配偶者誕生日
 入会記念日
 創業記念日 加藤康雄君 h3.2.18

委員：後藤憲治 近藤憲司 片岡博昌 早川英寿

スマイル

- 会計報告以来の出席、レアキャラ！…早川英寿君
- 娘の絵本が出版発売されました…加藤康雄君
- 無事に1年が経過し71歳に…貫名英舜君
- 三人目の孫が生まれた…竹田浩富君

本日のプログラム

講演 「ローカル紙の社会的な役割について」

岳南朝日新聞社 千頭和真理様



岳南朝日新聞は富士宮市をテリトリーとする唯一のローカル新聞です。私の記者歴は30年。現在は、基本的には市役所を舞台にした政治、行政サービス欄の取材と執筆担

当ですが、小さな会社で記者も少ないので、一般の文化欄、スポーツ欄、事件欄、社会欄、市民の自主的なイベント・公演、社会的有益性のある活動、その他の何でもこなしています。

とにかく、読者である富士宮市民が知りたいと思うこと、報道してもらいたいこと、関心があること、市民が知るべきだと思った情報などを出来るだけ分かりやすく、また、早く報道することを心がけています。大手メディアの記者と比べると仕事は多岐に及びます。市民と密着した取材をしていますから、特定の人と知り合いになることが多いのですが、しかし、新聞は公器ですので、一部の一方的な利益、また、プライバシー、個人情報保護の立場から損益になることは報道できません。客観性と不偏不党の原則は守っています。また、個人的なボランティア活動ですが、「文章を書くことは楽しい」ということを子どもたちに知っていただくための夏休み中作文教室の活動を行っています。子どもの中には、文章を書くことが苦手という思っている子どもが多くいます。この子たちにどうすれば、苦手を克服して「楽しい」と思ってもらえるか。子どもが苦手と思う背景には、作文を学力の一つとして評価されることがあると思います。また、親もまたそう考えて、「よいものをちゃんと書きなさい」というオーダーを出してプレッシャーを与えているからだと思えます。「自由に思ったこと、心に浮かんだことを書いてみたら…」というアドバイスを子どもに与えます。これで、ストレスフリーになった子どもは親が想像する以上の優れた文章を書くことができる場合があります。親が「うちのこどもが書いた文章が懸賞誌に載り

ました」というを聞くことになります。

「書くことは生きること。生きるとは書くこと」という信念を与えて下さったのは、身体に障害のあるある方でした。進行性筋ジストロフィーという病気を抱えた方がだんだん衰えて行く身体と闘いながら、工夫をして文章を綴ることを続けていることに感動しました。文章を書くと言うことは、ひとつには自分自身を外に向けて表現することであり、また、人とつながることだと思いました。

私も、富士宮市に起きるさまざまな事件を取材し、それを読者に届けることを生きがいを持って続けているということになります。

さて、話題を変えますが、今、報道メディアにおいて変化が起こっています。新聞、雑誌などの紙メディアがどんどん部数を減らし、代わって、Yahoo!ニュースのようなデジタルメディアが進出してきています。若い世代ほど、新聞を読むことが少なくなっています。岳朝も読者層の高年齢化が進んでいます。デジタル化について大手新聞はいろいろサービスをやっていますが、岳朝のようなローカルメディアはそれが難しい。また、新聞宅配に関しても、大手新聞の配布に織り込んでもらっていて、もし、静岡新聞や三大新聞の購読をやめる家庭が増えれば、岳朝単独で配布することは困難です。経営上難しい状態になりつつあると思えます。

Q&A 「子ども食堂」について

富士宮市でも経済的困窮家庭への支援として「子ども食堂」を開設しているケースがあります。社会福祉協議会がセンターとして運営しています。また、外国人の定住者が増えるにしたがって、離婚などを理由に生活に困る家庭も出て来ています。ケースににそった細かいサービスが必要になっています。

Q&A サッカーのプロ化について

財源上の問題を解決し、市民の協賛の意識を高めていくことが必要だろうと思う。幸い、ふるさと納税が好調です。サッカー・グラウンドなどのハード面の拡充から始めることができるでしょう。

Q&A 浅間大社門前町という文化資産の活用を

浅間大社にもっと自己宣伝をしたらいかがかと申し出しましたが、現状、観光資源として宣伝したいという考えが当事者にならないように感じられます。また、富士宮市民全体に、宗教文化はレガシーとして大切なのだという意識を持つように仕向けて行くことが町の活性化に繋がるという認識が必要でしょう。